

2021年8月改定

さつきやま森の学び舎

中高部（空色クラス）

子どもたちが「幸せに生きる力」をつける場所

さつきやま森の学び舎とは・・・

2012年4月に池田市で開園したオルタナティブ（独自の教育方針を持った）スクールです。現在は、0歳から未就学までの親子クラス。3歳から中学生までが在籍する虹色クラスがあり、それぞれの目的に沿った活動をしています。

親子クラスでは、「親子の信頼関係の構築」を目的に、池田市の五月山を中心に週に1度の活動をしています。

虹色クラスでは、「今やりたいことが1番目」を実践し、評価されない場で自分らしく、自分のやりたいことを磨いていく時間を作っています。また、虹色クラスでは、感性を育てる教育に力を入れており、「自分とつながる」ということをテーマに活動しています。

中高部開園に先立つ思い

2021年2月末に、園長の木村が出会った高校生の年齢の子どもたち。彼らと今の教育について話をしました。そしてわかったのは、中高生に明確にやりたいことを持っている人がいること。その割合も私のイメージより遥かに多く、夢を語ってくれていました。

そんな彼らが、今後どうなっていくのか？ 学習面は？ などの疑問が湧いてきて、いろいろな質問をしました。そして、より自分らしく、自由に時間を使える学びの場を作れることを知りました。

そこから、多くの友人や専門家と協議を重ね、時代の波に押されるように、3ヶ月で概要がほぼ決まり、中高部の募集を開始することができるようになりました。

これからの時代を担う若者たちと一緒に成長していける場を作り続けようと思っています。

時代を見据えて

教育は、10年後、20年後を見越して考えていかないとはいけません。現在一般的に行われている教育方法は、130年前に欧米で始まったものです。学年でわけ、教科を分けることで効率化を図りました。それは、重工業が発達し、鉄鋼などの工場で働く人が多く必要な時代でした。それから長い時間が経ち、ロボットや人工知能（AI）によって、工場で働く人は減り続けています。そしてAIは今も進化し続け、経済誌に記事を書くことすら容易になってきました。

では、2030年代はどんな時代になるのでしょうか？ エネルギーが石油から太陽由来のものに置き換わり、自動車は自動運転が当たり前になるかもしれません。農業分野でもロボットによる農業が全盛期を迎えているかもしれません。

そんな時代に社会で働く今の子供達にとって、130年前の教育が必要なのだろうか？ その疑問が園長の私の中に渦巻いていました。そして、多くの経営者や地域の方との出会いによって、本当に必要なものは何も変わってないことがわかりました。

それは「幸せに生きること」。そのために、学び舎は進化をこれからも続けていきます。

学力について

今多くの学校で学んでいる、試験に合格するための勉強は、社会に出た時「一体なんのために学んでいたのか？」と思う一つです。それは多くの大人が、「なぜ？」と思っているはずです。学び舎では、社会に出たときに、あの学びは役に立ったと思える学びを提供し続けていきます。

ただ、現代社会では、試験に受かるための学力も求められています。その学力については、学習塾とタイアップし、「高卒認定試験」の合格を目指します。それをいつ目指すのかは、ここの子どもたちに任せようと思っています。試験を受けるかどうか子どもたちが決めます。

教育方針について

【シンボル】



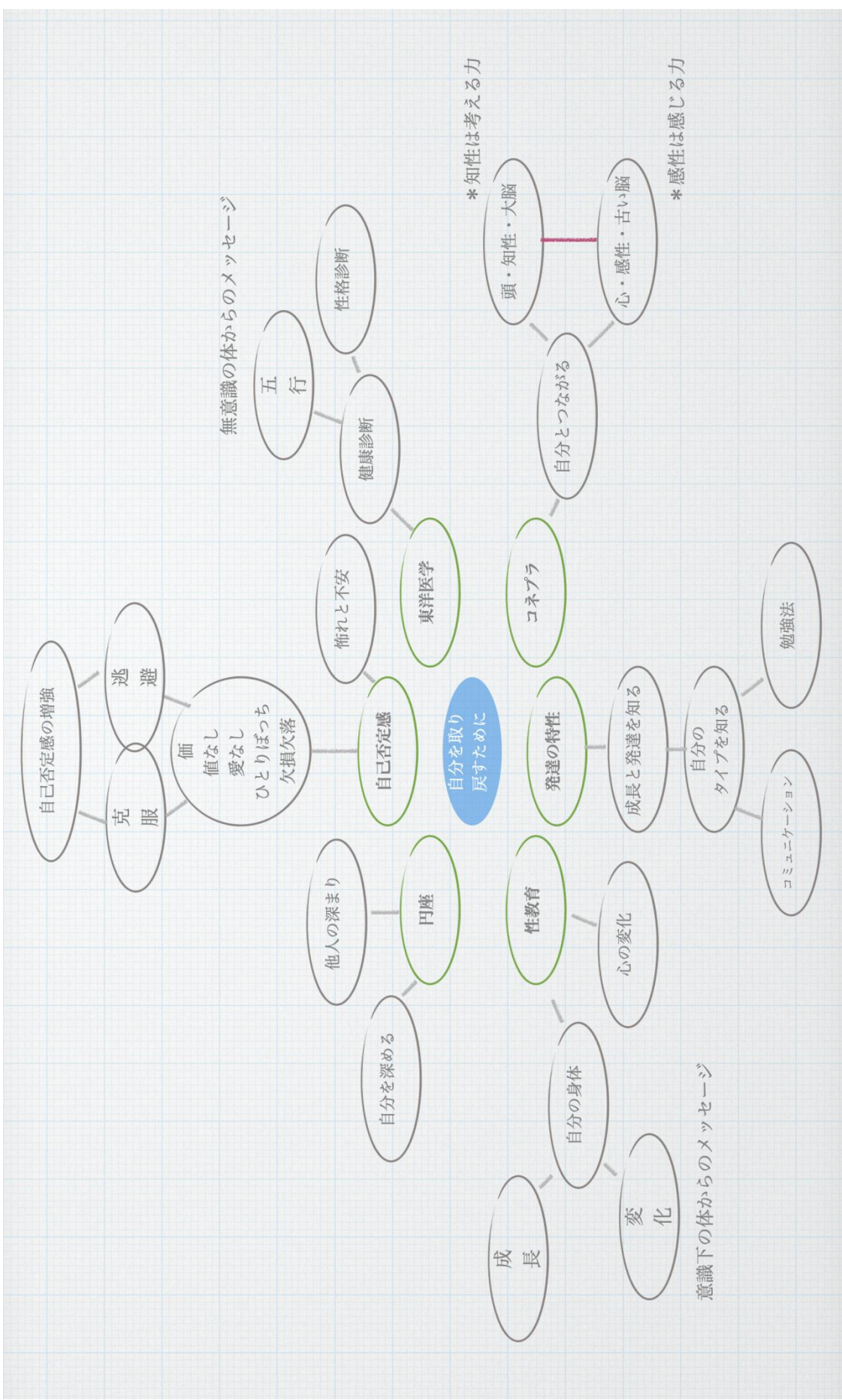
【幸せの四要素】

「ありのまま」「やってみよう」「ありがとう」「なんとかなる」

【自分のまんま】であるために



自分を知ることが大切です。それぞれの要素については次のページをご覧ください。



無意識の体からのメッセージ

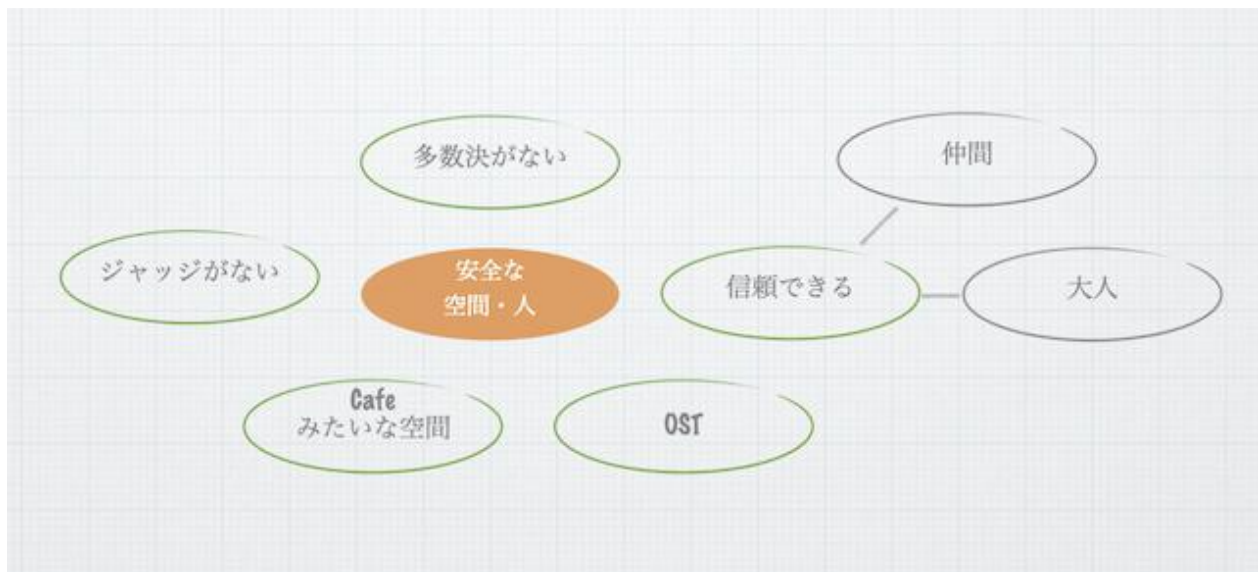
意識下の体からのメッセージ

*知性は考える力

*感性は感じる力

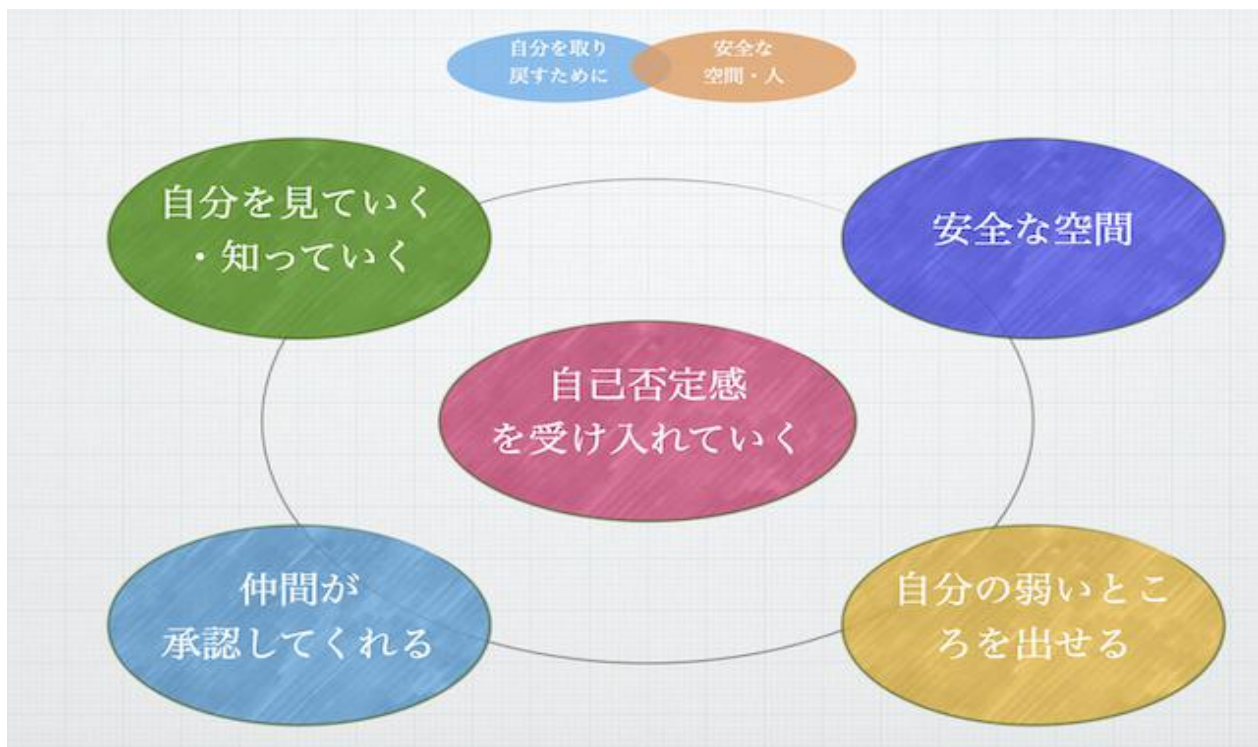
【安全な場・人】

安全な場や人は人の成長にとって欠かせないものです。そんな環境を作っていきます。



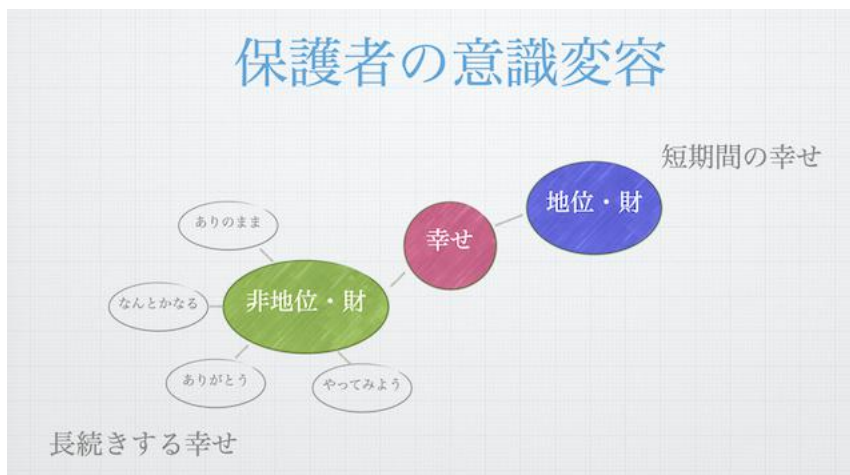
【自己否定感を受け入れていく】

自分の弱い部分を出していける場、人がいて、その弱いところを評価するのでなく受け入れてもらうことが、自己否定感を受け入れていくための一つの方法となります。



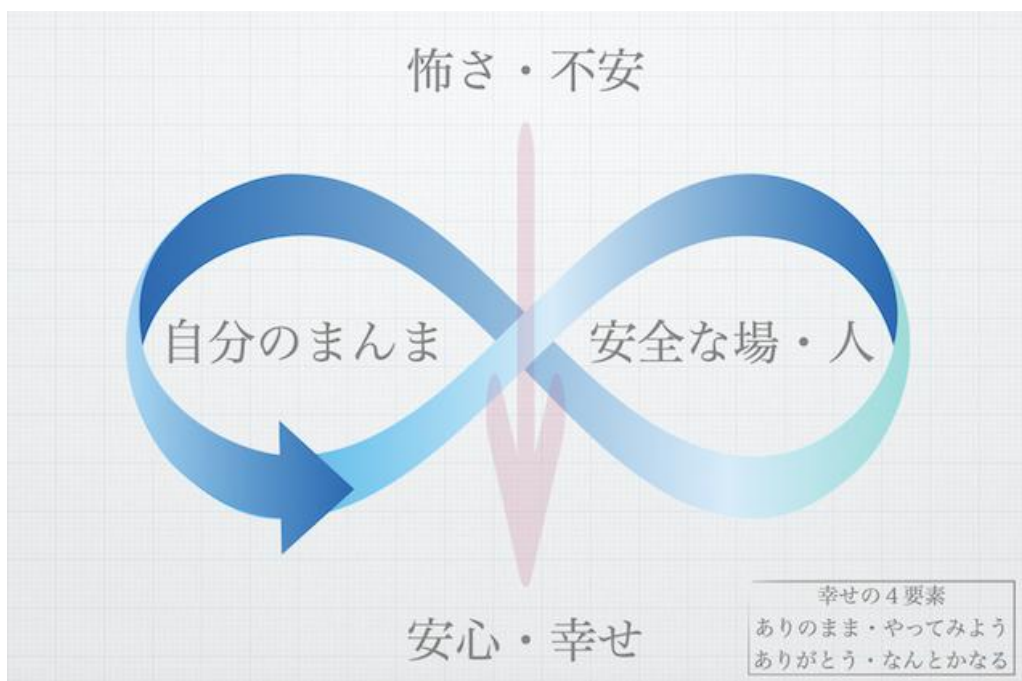
【保護者の成長と原点回帰】

子どもたちが、安全な場と仲間に否定的なところを受け入れてもらい、その状態を当たり前と感じられることを目指しています。そのためには、保護者の方が家庭でどのように受け答えをするかも含めて、全体で成長をしていくことが必要となります。子どもたちが生まれた時に思った、「幸せになってほしい」という気持ちに原点回帰し、子どもたちの成長と一緒に見守る保護者への情報提供などをしていきます。



* 上記は一例です。

【子どもたちのブレイクスルー】



【社会へ出ていく子どもたちの前進】

今の大人の世代には、理解することが難しい、今の子どもたちの価値観。その価値観を表現し、何かを作り上げる形として、株式会社を使って行おうと思っています。

会社は、学校の勉強とは違い、一人で、全てをやる必要のない組織です。チームで、自分のできることを持ち寄って作り上げていく。さらに、インターネットでの情報検索はやりたい放題。ZOOMで専門家の意見を聞くこともできます。パソコンの表計算アプリだって使っている。それが、今の社会の仕組みです。その仕組みを十分に活かしながら、今の子どもたちが新しいものを作り上げていく。それがいずれ社会に出る子供達の生きる力につながっていくと考えています。

